



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3341 URL <https://www.nicho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 笠井 直人
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経営企画部長 (氏名) 加藤 慶 TEL 03-6810-0800
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	269,799	6.2	10,550	△19.7	3,733	△43.0	4,174	△35.9	617	△83.6
2024年3月期第3四半期	254,127	9.1	13,144	7.1	6,550	12.4	6,517	11.7	3,769	△12.1

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 617百万円 (△83.6%) 2024年3月期第3四半期 3,773百万円 (△12.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	20.65	—
2024年3月期第3四半期	125.99	—

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	201,487	58,171	28.9
2024年3月期	195,087	58,351	29.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 58,171百万円 2024年3月期 58,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2025年3月期	—	12.50	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	373,800	9.8	16,500	△9.6	6,400	△30.0	6,500	△31.1	2,000	△21.7	66.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	31,048,000株	2024年3月期	31,048,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,172,744株	2024年3月期	1,130,711株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	29,896,469株	2024年3月期3Q	29,916,270株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が所有する当社株式（2025年3月期3Q 110,963株、2024年3月期 69,016株）が含まれております。また、役員報酬BIP信託が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による当社の判断及び仮定に基づく予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。また、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料についてはTDnetにて適宜開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2024年4月1日～2024年12月31日）における我が国経済は、一部に足踏みが残るものの景気は緩やかな回復が見られました。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、引き続き緩やかな回復が続くことが期待されておりますが、海外景気の下振れや物価上昇等の影響に十分注意すべき状況が続いております。このような経済情勢のもと、当社グループでは、「すべての人の『生きる』に向き合う」を使命とするヘルスケアグループとして、良質な医療サービス及び医薬品の提供に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、調剤薬局事業における処方箋枚数の増加及びグループ全社を挙げたコスト抑制の取り組み等が寄与した一方、同事業の一部店舗において減損損失を計上したこと、及び医薬品製造販売事業において長生堂製薬株式会社の川内工場における製造管理上の不備による影響が継続したこと等により、売上高269,799百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益3,733百万円（同43.0%減）、経常利益4,174百万円（同35.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益617百万円（同83.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績及び取り組みは以下の通りです。

① 調剤薬局事業

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、前期及び今期出店の効果に加えて、12月中旬以降のインフルエンザ等急性疾患の前年を上回る拡大等が寄与したことで、2024年12月までの累計処方箋枚数は前年同期比で4.6%増加いたしました。その一方で、2024年4月に給与水準の引き上げを行ったこと等により売上原価及び販売管理費が増加しております。この結果、売上高は240,266百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は9,103百万円（同14.4%減）と前年同期比で増収減益となりました。2024年12月末時点での総店舗数は、同期間に28店舗の新規出店、15店舗の閉店を行った結果、計749店舗となりました。なお、ジェネリック医薬品の数量ベース使用割合は、2024年10月より長期収載品（後発医薬品のある先発医薬品）の選定療養制度が開始されたこと等により、2024年9月比で5.1%上昇し、平均で95.2%（供給停止品目などを算出対象から除外して計算）に達しております。また、在宅医療実施店舗の割合は96.4%（年間24件以上実施の店舗割合）と順調に推移しております。

2024年10月には大阪市全域の国家戦略特別区域において「調剤業務の一部外部委託」事業の異なる法人間の委託実施に向けた届け出を行い、取り組みを開始いたしました。「調剤業務の一部外部委託」は、2015年に厚生労働省が策定した「患者のための薬局ビジョン」に記された対物業務効率化の一手段であり、これにより薬剤師が在宅医療や地域包括ケアの取り組みなど対人業務のさらなる充実を図ることが期待されています。

また、日本調剤の価格均一OTC医薬品ブランド「5COINS PHARMA」につきまして、これまで解熱鎮痛剤や胃腸薬、トローチなど全24品目を展開していたところ、非刺激性便秘薬「酸化マグネシウムA便秘薬」やアレルギー専用薬「アレルギー点眼薬DX」、「ピュアロップALGプラス点鼻薬」など3品目を新たにラインアップに追加し27品目となりました。また、当社グループ以外の薬局においても販売を拡大しており、すべての人のセルフメディケーション推進に貢献するための取り組みを拡大させております。

さらに、長期ビジョンの実現に向けて、調剤薬局における対人業務のさらなる充実を図り、医療の質を向上することを目的に、AI活用等による業務効率化への取り組みを推進しております。2024年11月には、AI薬歴作成支援サービス「corte」の導入を開始し、一部店舗において業務効率化の効果検証を行うとともに、導入店舗の拡大を検討しております。

② 医薬品製造販売事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は30,903百万円（前年同期比0.8%減）、営業損失は300百万円（前年同期は555百万円の利益）となりました。売上高及び営業損益につきましては、既存販売品及び2024年12月発売の新規薬価収載品の堅調な販売があった一方、2024年4月の薬価改定に伴う既存製品の販売価格の下落及び同月に長生堂製薬株式会社の川内工場において製造管理上の不備が発覚した影響が継続したこと等により減収減益となりました。同工場においては不備の改善を進めており、7月より一部の製品について製造・販売を再開しております。なお、2024年12月末時点での販売品目数は、販売品目の見直しを進めた結果463品目（一般用医薬品1品目を含む）となりました。自社製造品比率につきましては49.2%と、2020年3月期以降順調に拡大しております。安定供給に向けては、業界全体の供給不安等により多くの販売品目について限定出荷を行っていましたが、供給体制が整

った製品から順次通常出荷に戻しており、2024年12月末時点での限定出荷品目数は114品目となっております。引き続き、ジェネリック医薬品の品質管理と安定供給を最優先としつつ、研究開発投資による新規薬価収載品を含む自社製造品の拡大及び生産性の向上に取り組んでまいります。

③医療従事者派遣・紹介事業

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は8,678百万円（前年同期比17.7%増）、営業利益は805百万円（同1.2%増）となりました。売上高及び営業利益につきましては、主力である薬剤師の派遣・紹介事業の業績が引き続き拡大したことにより前年同期比で増収増益となりました。産業医事業を含むヘルスケア事業においても需要が拡大しており、国内企業の健康経営への貢献をさらに推し進めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は201,487百万円となり、前連結会計年度末の195,087百万円に対し、6,400百万円、3.3%増加いたしました。主に、商品及び製品の増加によるものです。

負債合計は143,316百万円となり、前連結会計年度末の136,735百万円に対し、6,580百万円、4.8%増加いたしました。主に買掛金、短期借入金の増加によるものです。

純資産合計は58,171百万円となり、前連結会計年度末の58,351百万円に対し、180百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は28.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、2024年4月30日に公表いたしました数値を修正しております。

内容につきましては、本日（2025年1月31日）公表いたしました「減損損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,034	21,851
受取手形	69	15
売掛金及び契約資産	21,761	25,880
電子記録債権	395	159
商品及び製品	28,992	35,657
仕掛品	2,420	2,061
原材料及び貯蔵品	6,677	9,478
その他	4,691	6,125
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	91,031	101,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,882	26,818
土地	13,371	13,323
建設仮勘定	2,642	2,357
その他（純額）	16,532	16,317
有形固定資産合計	60,428	58,817
無形固定資産		
のれん	12,955	11,887
その他	8,471	10,358
無形固定資産合計	21,426	22,245
投資その他の資産		
投資有価証券	18	14
敷金及び保証金	9,904	8,632
その他	12,277	10,559
投資その他の資産合計	22,200	19,206
固定資産合計	104,056	100,270
資産合計	195,087	201,487

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	52,759	59,139
電子記録債務	3,657	2,579
短期借入金	450	6,700
1年内返済予定の長期借入金	10,981	9,924
未払法人税等	2,072	68
賞与引当金	4,086	2,196
役員賞与引当金	63	-
その他	10,786	9,544
流動負債合計	84,858	90,153
固定負債		
長期借入金	42,108	43,147
役員退職慰労引当金	85	82
退職給付に係る負債	2,587	2,721
その他	7,095	7,211
固定負債合計	51,876	53,162
負債合計	136,735	143,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	9,228	9,228
利益剰余金	47,020	46,887
自己株式	△1,898	△1,946
株主資本合計	58,303	58,122
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	48	48
その他の包括利益累計額合計	48	48
純資産合計	58,351	58,171
負債純資産合計	195,087	201,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
売上高	254,127	269,799
売上原価	211,315	226,794
売上総利益	42,812	43,005
販売費及び一般管理費	36,262	39,271
営業利益	6,550	3,733
営業外収益		
受取手数料	34	35
受取賃貸料	488	653
受取保険金	15	5
補助金収入	40	483
その他	161	455
営業外収益合計	739	1,632
営業外費用		
支払利息	263	333
支払賃借料	323	490
その他	186	367
営業外費用合計	772	1,191
経常利益	6,517	4,174
特別利益		
固定資産売却益	65	18
投資有価証券売却益	-	14
受取補償金	32	33
特別利益合計	97	66
特別損失		
減損損失	142	2,153
固定資産売却損	3	0
特別損失合計	146	2,153
税金等調整前四半期純利益	6,468	2,086
法人税、住民税及び事業税	1,847	591
法人税等調整額	851	878
法人税等合計	2,699	1,469
四半期純利益	3,769	617
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,769	617

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,769	617
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	4	0
その他の包括利益合計	4	0
四半期包括利益	3,773	617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,773	617

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	225,570	21,222	7,334	254,127	—	254,127
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9,940	35	9,976	△9,976	—
計	225,570	31,163	7,370	264,103	△9,976	254,127
セグメント利益又は損失(△)	10,628	555	795	11,978	△5,428	6,550

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△5,428百万円にはセグメント間取引消去△143百万円及び全社費用△5,285百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産(3店舗)等の減損損失142百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	240,266	21,018	8,514	269,799	—	269,799
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9,884	163	10,048	△10,048	—
計	240,266	30,903	8,678	279,848	△10,048	269,799
セグメント利益又は損失(△)	9,103	△300	805	9,608	△5,874	3,733

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△5,874百万円にはセグメント間取引消去△35百万円及び全社費用△5,839百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産(7店舗)等の減損損失2,153百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	5,143百万円	5,352百万円
のれんの償却額	1,415	1,431